

図書館だより

11月図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
	①	2	③	4	5	6
7	⑧	9	10	11	12	13
14	⑮	16	17	18	⑰	20
21	⑳	㉑	㉒	24	25	26
28	㉓	㉔	㉕			

○印 休館日
月曜日・祝日(3日・23日)
臨時休館日(19日) 月末館内整理(30日)

読書の秋

今秋の読書週間(10月27日～11月9日)のテーマは、「ゆつくりと各駅停車、本の旅です。この機会に、図書館へお出かけください。」

今月の新刊図書案内

♥ 一般図書

YA(ヤングアダルト)読書案内

赤木かん子ほか

『無断コピー、転載を禁ず。』

森法正

本とコンピューター

津野海太郎

運を育てる

米長邦雄

逆説の日本史

井沢元彦

江戸東京大地図

平凡社

アメリカでの暮らし方

中野英子

超一流主義

斎藤潔奈子

闇の男

小林峻一

これからの日本経済

長谷川慶太郎

危機を活かす

堺屋太一

子どもという不安

第7回 図書館こどもまつり

市立図書館では、児童が本に親しむ機会をつくることを目的として、図書館こどもまつりを開催します。秋の一日をみんなで楽しみましょう。

日時 11月21日(日)
午後1時～5時
場所 文化会館4階
大ホール
内容 影絵、本の読み
きかせ工作ほか
主催 市立図書館・
市教育委員会
問合先 市立図書館
☎(43)1321内線40



主婦の友社
痴呆のお年寄りの介護
長谷川和夫
よく効くニンニク療法
永井勝次
野菜の科学
高宮和彦
現代の和風住宅
講談社
食事でビタミンCをとる
女子栄養大学出版部
食べてきれいになる簡単料理
竹内富貴子
私が農業をやめない理由
佐藤藤三郎

きのこ狩りの極意書 生出智哉
銭湯へ行こう・旅情編 町田忍
簾とつるで楽しむバスケットリ！
真木雅子
マンザナ、わが町 井上ひさし
駆け込み団地の黄昏 赤川次郎
「萩原朔太郎」の亡霊 内田康夫
夕焼けの町 嵐山光三郎
潮流 伊集院静
顔に降りかかる雨 清水義範
ニッポン見聞録 桐野夏生
銀河の雫 高樹のぶ子
パブリカ 筒井康隆
蔵上・下 宮尾登美子
オレンジの壺 上・下 宮本輝
私は別人 上・下
シドニー・シェルダンの
レディ・ボス 上・下
ジャッキー・コリンズ
児童図書 外 一二三冊
一〇〇冊

心の健康シリーズ(7)

お父さん、出番ですよ

父親の役割



昔から怖いものとして「地震、雷、火事、親父」といわれ、父親は五指の内に数えられる程、怖い存在であり、それだけに「しつけ」をはじめ子どもの人間形成に大きな役割を果たして来たのです。

しかし、最近家庭の民主化とともに父親の存在が薄れ、子どもに好かれる「友達パパ」「行楽パパ」となってしまい父親の役割を母親が代行しているといわれています。ここに小学生の作文を紹介します。

お父さん大好き 小五 男子

この間、寝るまえになつて工作の宿題をやつてないことを思い出した。材料の竹ひごを学校へ置き忘れてしまったので、お母さんにそうだんすると、ちよつとおこつたけど「あしたは必ずしてきますと先生にあやまりなさい」といつてくれた。そのまま寝ようとする

材料がなかったら自分で作れ!!」とおこつた。お母さんが「もうおそいのに……」となだめてくれたけど、お父さんはゆるしてくれない。ぼくは、半分泣きながら、古いはたきのえを切つて竹ひごを作つた。お父さんは、竹の割り方を教えてくれながら「この気持ちを忘れるなよ」といった。

太くて、でこぼこの竹ひごだけどやじろべえができ上がった。その時は、はじめの気持ちはきえて、うれしさでいっぱいだった。「お父さん、ありがとう」と思わずいつていた。

そして、お父さんのようにしんから強い人間になろうと思つた。

おわり

子どもは、父親のやさしさだけを好むわけではありません。時にはきびしくしかる父親に頼もしさを感ずるのです。子どもは、やさしくて厳しい、そんな父親であつてほしいと願つてゐるのです。

日本の親は子どもの過失を見つけても叱るのに場所や時を選ぶようです。それは親の体面を考え過ぎるからです。子どもが幼児でも小中学生でも、叱る時にはしっかり叱ることが大切です。しっかりと叱ることによって子どもは親の気持ちを理解するし、善悪の判断がつくのです。

子どもは、父親から人生の厳しさを学び、母親からやさしさを学ぶといわれています。